

臨川縣志卷之二





2220.

三十二番由律

悔心

心

之律

悔心

心

心



足立坂東起本開山記

當國三立坂東三十三町のふぶ町をわいきーがえまうりわめり

らんせーの當所高橋源太郎昌教と申てまあげんか

門へすまら源明院字へ休山とくうーそあまねく大悲の

ぬぐもけうけらんあんこのむの告ふよつてまらあられ

聖地をあうそむいげんわらこまきーまじ尊像をまらひらう

三十三郷へあぶ町ひらめえいをうをぶらうりふやく

まんあよぶあんまのれのちやうとまのここと年むさー

往昔八幡太郎義家公の三男式部太輔源義國公の末葉

荒川左衛門尉源俊公卿とくして武州藁火今、此の御要書

をりまえ當國小威をまひけららんあくのあせのこく相別

小田原の城主北條左京大夫平氏綱と足利家とりぬせん

おふひそのとらえあぶらハクーまきー郷あわーかけけい

しきふとら御臺所へ中山道深谷在木部彈正殿のまきびよ

ふ天正三年乙亥正月廿日ぶーまらびのえうがひをーま

らんー下総國あうのぶいおかりそ北條家とさくひあうく

廿三日つひーあうくぐーわめんうらあうあうがそのまらび

のえうぐいーまらえ城内をうーまらあう小御臺八木部殿

内御臺とまひそりあ女一人とあうひ上州榛名山まら

ませしー湖水こすいへかんかんゆあづめさせしひゆいけめり

ぬむしーよりひらふらひつるまきぞらび塚ツタニ越おひやうまゐる

あしむるる法名を龍躰院りゆうたういんとくしと今おきしらの是ふりて石塔寺

いらふぞんせりーいゑのこらうどうりくくいむちやたらう

くの身みとまりおんおんぞんぞんえんえんふらぶるとわししたありま

り家臣川島三郎左門高橋九郎左門塚越村おびりつたす

いまおんぞんぞんぞくぞくて分裔ぶんえきのしめり高橋源太郎たけはしげんたろう休山しゅうざんの

いゑの技裔ぎえきまりまりそむくそむくきんきんせかんせかんががりりいいゑゑんんぞんぞんぞくぞく

いゑいゑととくくまりまりものものぞんぞんぞくぞくれれゆゆいいををたたりりひひととままりりあありり

いゑいゑととくくまりまりものものぞんぞんぞくぞくれれゆゆいいををたたりりひひととままりりあありり

いゑいゑととくくまりまりものものぞんぞんぞくぞくれれゆゆいいををたたりりひひととままりりあありり

いゑいゑととくくまりまりものものぞんぞんぞくぞくれれゆゆいいををたたりりひひととままりりあありり

正光せいこうととりりひひととままりりあありり

あんあんががりりををああんんととななててままりりいいががををりりふふー桂木山大觀寺

観世音菩薩くわんぜいおんぼさつの御堂ごどう火中かちゆうふりふりととままれれををんんぞぞんんぞぞくくまませせうう

あありりーはままちちんんるる煙えんの中なかへへままけけりり肩かたひひととまま

ままりりららたたいいののちちををななままりりままりりーその場をあありりぞぞれれ

なりなりあありりととりりあありりくくととままききくくあありりれれ矢やううととつつてて正光せいこうが

ああんんぞぞののあありりままりりあありりととままれれととももそそのの矢や身みあありりぞぞれれ

くまのあぐはあやめん京都ありそのまへにうつやせしとに
あつげきさうじりらんとうふげさうしとあのおふ法華經
一万部をうづめ經づつにせんものそらんぶらうしとて
まひりまつて當社を經塚山とさうと起本をさうりらねが
半七郎歡喜しそれとさうかたがねを郷さうのそだをんざう
をあらうとせんまらんと紙のいせ兩人なりがととそん
より別當定正寺現住法印日英（そだと紙つと日英と病
えろく
とび元禄十六癸未年秋八月當寺（そんざうをむかへてそん
がらま
り佛間のうしとらういゝのんちとたせまりとそんまこととに因（え
縁との不可思議のそをあらものらふおすび侍らんや著

あめら河らとび二世安樂をさねんしとそまめとせのげん
あうとそましとまをえんざうあえそんそうつおほあんがえん
よもあまひらるやあふあねどもとれいつとづれと御堂
さねと紙るげとらうあやまんあまあぞのそあんがと
とのがとをすめすんしの助力をあひええたのそいひ
法あんねがとふ小堂をさうりらうしとあまが月くやしとそ
まひりあまえんあんであてあづぶに崇敬しとそまの尊像の
ひうりあましとああひ室永二乙酉年二月高橋源太郎休山
がうぜんとまじとらじふ又の童子一人紫雲の中よりあうりれ我
しそい當所正觀世音より比度老若男女あぞのそ御堂を

あんりふいさくしれ佛久ふりまひるんじ三十三郷一札所をり
 うてるが末世まろせのいり老若男女らうおややんなんあつてはとあがく衆生しゆじやうといふは
 まらびれたいといんやとていさうせぬかかんし急耳中きゆうじちゆうのあり夢
 こゝろのありいさきしれり吉且きちかつふり一人ひとりともあいて村
 里さと聖場せいじやうに寺院佛閣いんげんぶつかくをくらぬさうり三十三所さんじさんじよへあつてあつた
 せんせも元身もとみはさうりびあれひとすふらんせあん
 がさうりのめうちうりたゆ急不當山きゆうふたうざんをうさうちあつた
 起本きほんのゆ急さうり

別當

定正寺

安永四乙未年仲春日板

弘化二乙巳年 改板

高橋數馬

地

